



うきは市

〒839-1393 福岡県うきは市吉井町新治 316
tel.0943-75-3111 fax.0943-75-5509

H26.3 発行

平成24年7月
うきは市の災害記録

九州
北部
豪雨

DOCUMENT



平成24年7月、うきは市を、記録的な豪雨が襲った。



隈上川(新川・本村)の状況

葛籠雨量観測所では650mmを超える降雨を観測。記録的な豪雨となった。

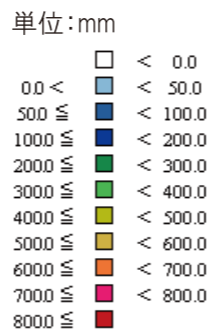
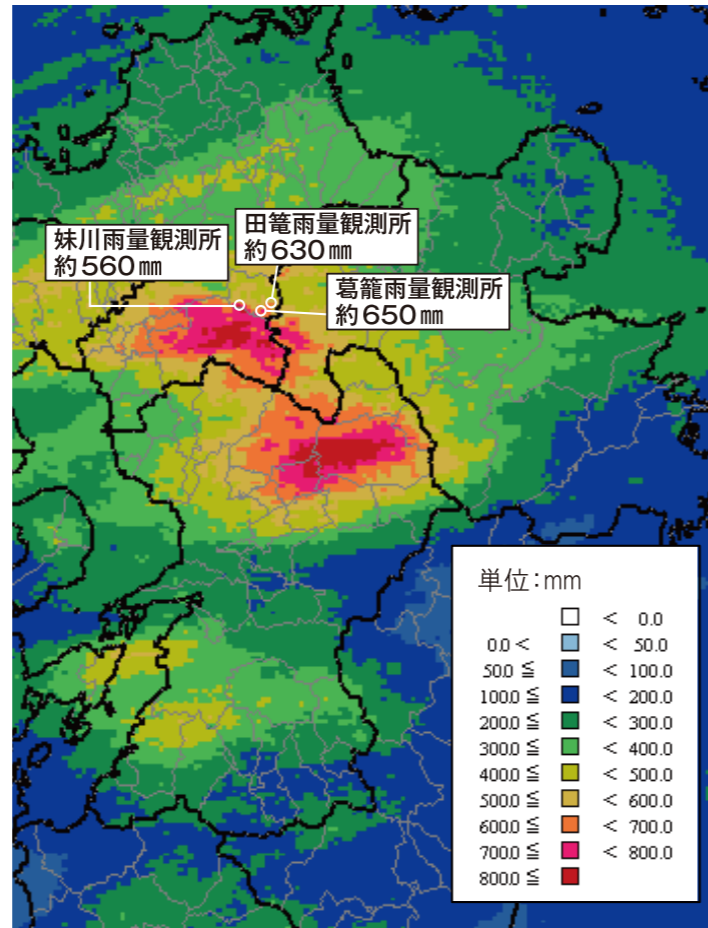
活発化した梅雨前線の影響により、7月11日から7月14日にかけて九州北部全域は猛烈な雨に襲われました。うきは市葛籠雨量観測所では、11日からの最大72時間降水量は658mmに達し、最大24時間雨量は478mmを記録。14日にはうきは市付近で110mmの記録的短時間大雨となり、激しい雨が叩きつけました。

●うきは市降雨記録(期間:平成24年7月11日~14日)

観測場所 及び機関名	最大1時間雨量 (観測時間)	最大24時間雨量 (観測時間)	最大72時間雨量 (観測時間)
田籠観測所 所管:筑後川河川事務所	78mm (14日6時~14日7時)	452mm (13日12時~14日12時)	630mm (11日12時~14日12時)
葛籠観測所 所管:福岡県	78mm (14日6時~14日7時)	478mm (13日12時~14日12時)	658mm (11日12時~14日12時)
妹川観測所 所管:筑後川河川事務所	76mm (14日5時~14日6時)	368mm (13日12時~14日12時)	564mm (11日12時~14日12時)

(定義)・最大1時間雨量:期間内における1時間の最大値の雨量
 ・最大24時間雨量:期間内における連続24時間の最大値の雨量
 ・最大72時間雨量:期間内における連続72時間の最大値の雨量。

●総降水量分布図(7月11日~14日)



小塩川(小塩・女子尾)



巨瀬川、隈上川ではん濫危険水位を突破。危機的状況に、うきは市全域に避難勧告発令！

巨瀬川の中央橋水位観測所では、はん濫危険水位を突破し観測史上第2位となる2.97mの最高水位を記録。また隈上川でもはん濫危険水位を上回る3.36mと観測史上第3位となる水位となりました。



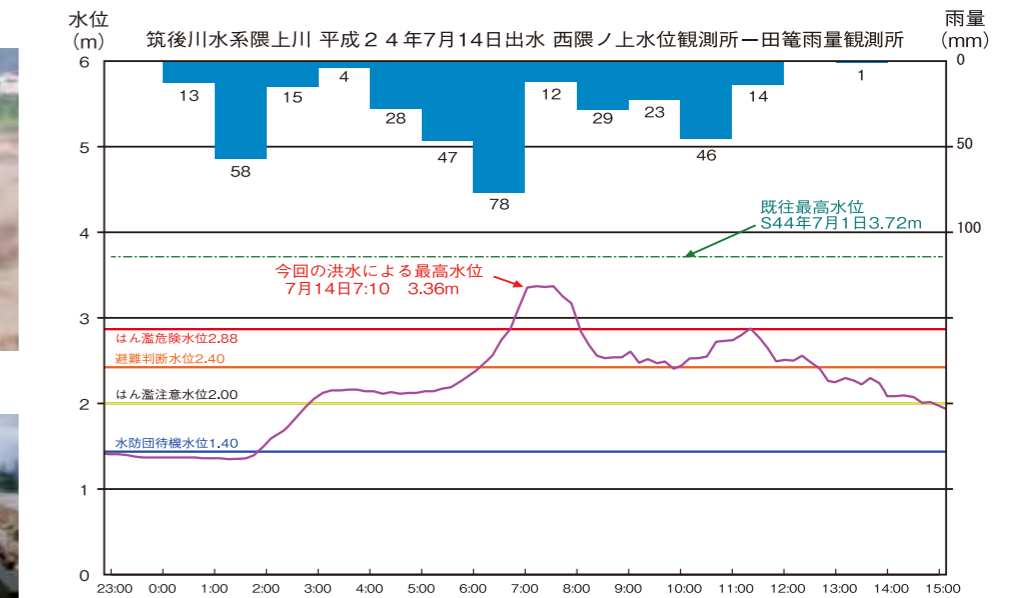
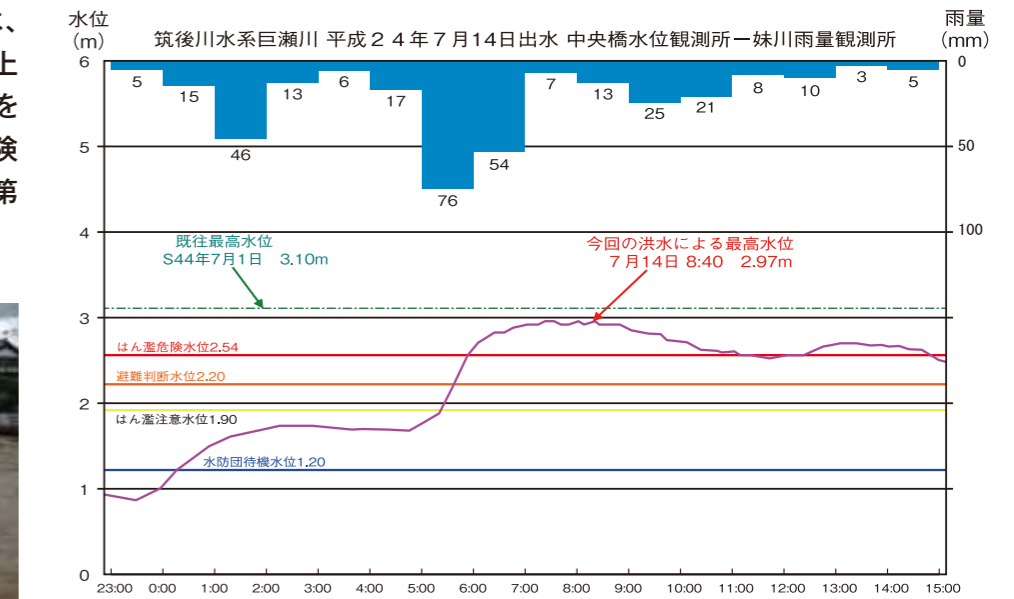
巨瀬川(吉井町)



JR久大本線橋梁(西隈上)



橋の路面を越えた水(隈上川:下御所橋)



越水した隈上川(東隈上)



橋に迫る水位(新川・本村)

冠水した道路(桜井)

うきは市は未曾有の被害に襲われた。



土石流で全壊した家屋(新川・つづら)

死者 1人
浸水家屋 約450戸
道路損壊 169か所

市内各地で甚大な被害が発生。

うきは市を流れる河川沿いでは護岸の崩落や道路損壊、濁流に洗われた橋梁の落橋など、大きな被害が発生。隈上川では8か所で水が溢れ、田籠地区では濁流に流された方が亡くなられたのをはじめ、市内の各地で住宅の損壊、床上・床下浸水、農地流失など被害が拡大しました。山間部では土砂災害が発生し、道路の寸断により孤立する集落が発生するなど、うきは市は甚大な被害を受けました。



①はん濫により床上浸水が発生(桜井)



②道路冠水(県道保木吉井線 若宮)



③道路冠水(吉井21区)



●一般被害

区分	件数	
人的被害	死者	1人
	重傷者	1人
住家被害	全壊	7棟
	半壊・一部損壊	4棟
	床上浸水	82棟
	床下浸水	370棟

●公共土木被害

区分	件数	被害の状況
道路	市道64本(169箇所)	法面・路肩崩壊
橋梁	6橋	落橋
河川	25河川(314箇所)	護岸崩壊
	8箇所	溢水・決壊



④河川はん濫(妹川・持木)



⑤護岸が崩壊した隈上川(田籠・日森園)



⑥はん濫流が人家を襲う(小塩・女子尾)

避難勧告発令。対象人数は、全世界帯32,000人!

7月14日午前6時30分頃、国土交通省筑後川河川事務所の職員がうきは市を流れる隈上川でははん濫発生を確認。6時45分、うきは市全域に避難勧告が発令されました。12時50分には浮羽町小坂地区に避難指示も発令。防災行政無線やうきは市のホームページ等を通じて、区長や住民に情報が伝達されました。

日付	時間	種別	地区	対象世帯数	対象人数
7月14日	6:45	避難勧告	市内全域	10,735	32,037
7月14日	12:50	避難指示	小坂地区	61	207



避難所へ支援物資を搬送(田籠地区)

●避難所開設数・避難者延べ人数

月日	7/3	7/4	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	避難者延べ人数
避難所開設数	27	16	12	20	3	6	2	2	2	2	2	1,542

土砂災害や浸水により道路網が寸断。多数の孤立集落が発生した。

山間部では、いたるところで土砂崩れや浸水による災害が起き、連絡道路が各地で途絶。田籠地区を含む複数の地域で集落が孤立化しました。

日付	地区名等	世帯数	人数
7月13日	千年地区スポーツアイランド	—	1
7月14日	田籠地区	65	185
	内ヶ原地区(盗人馬場)	2	5
	元有地区(三志毛)	1	2
	小塩地区(牧の草)	11	21
	探野地区	5	16
	鹿狩地区	13	38
	つづら地区	5	20



橋梁崩壊(田籠・日森園橋)



土砂災害(小塩・牧の草)



道路崩壊(新川・つづら)



道路崩壊(新川・探野)

筑後川

うきは市被害状況MAP

(うきは市消防団、うきは市調べ)

凡 例	
	浸水被害
	土砂崩れ
	堤防決壊
	通行止め



緊迫する災害現場。懸命な対応が続いた。



行方不明者の捜索(田籠・注連原)

うきは市災害対策本部は、全消防団員に出動を発令。

7月13日午前8時30分、うきは市は大雨、洪水警報を受け、災害対策準備班を設置。気象状況のさらなる悪化に伴い、同日9時30分、災害警戒本部

を設置し、全消防団員に出動を発令しました。同日11時20分に災害対策本部を設置し、避難所開設、避難勧告・指示を行いました。

月日	時間	気象情報	災害対策本部設置状況		消防団体制	避難所設置状況
			組織体制	人員		
7月13日	5:15	[注意報] 大雨、洪水				
	8:30	【警報】 大雨(土砂災害、浸水害)、洪水	災害対策準備班設置	3人		
	9:30		災害警戒本部設置	15人		
	11:20					
	12:55	土砂災害警戒情報発表	災害対策本部設置 (第3非常配備体制)	全職員	全団員出動	
	16:25	土砂災害警戒情報解除				
	17:30					12箇所自主避難
7月14日	23:59	土砂災害警戒情報発表				
		継続【警報】大雨(土砂災害、浸水害)、洪水 継続 土砂災害警戒情報				
	6:45					20箇所自主避難 避難勧告(市内全域)
	7:00	記録の短時間大雨情報発表(うきは市付近)	継続 災害対策本部設置 (第3非常配備体制)	継続 全職員	継続 全団員出動	避難指示(小坂地区)
	12:50					
7月15日	16:55	【警報解除】 大雨(浸水害) 継続【警報】大雨(土砂災害)、洪水				
	21:45	【警報解除】 洪水 [注意報] 洪水				
		継続【警報】大雨(土砂災害) [注意報] 洪水				
7月15日	3:07	[注意報解除] 洪水				3箇所自主避難
	6:20	土砂災害警戒情報解除				
	6:46	【警報解除】 大雨(土砂災害) [注意報] 大雨	継続 災害対策本部設置 (第3非常配備体制)	継続 全職員	継続 全団員出動	
	8:00					避難勧告・指示解除
	17:20	[注意報解除] 大雨				

延500人以上(7月13日~15日)の消防団員が、郷土を守るため、危険を顧みず、水防活動を遂行した。

7月13日の午前中に雨脚が強まったことを受け、うきは市は11時20分にうきは市消防団全分団の出動を要請し、団長の指揮の下それぞれの管轄地区での警戒活動に入りました。いっそう激しさを増していく雨により、同日12時55分にうきは市に対して福岡県土砂災害警戒情報が発表されました。市内全域での被害状況を災害対策本部のみで把握、対応することが困難であったため、うきは市消防団各分団長の判断での水防活動を指示、それに加え団本部幹部が市の災害対策本部に対して、市民から依頼があった災害対応、救出活動等について無線で指示しました。また、規模が大きく危険性が高い災害現場には幹部が陣頭指揮を執る体制をしきました。



土のう積みによる浸水防止



水路排水作業



道路土砂撤去作業

多大な貢献に対し、水防功勞として表彰。

うきは市消防団員の昼夜にわたる水防活動や住民の避難誘導などの献身的な功績に対し、水防功勞者として国土交通大臣表彰をはじめ、九州地方整備局長表彰、内閣総理大臣表彰を受けました。



被害家屋の応急処置



国土交通大臣表彰を受ける重富うきは市消防団長



被災状況調査

市民からの多様な要請に 消防署員も迅速な対応を行った。

久留米広域消防本部すべての職員が招集され、うきは市では、土砂災害や河川の氾濫による孤立者を救助、家屋等への浸水防止や倒壊家屋での行方不明者捜索活動等を実施しました。



救助活動(小塩地区)

●災害状況一覧 (活動をしたうきは市内のみ記載)

日時	場所	災害状況及び活動内容	活動人員	出動車両
7/13 14:00頃	吉井町橋田(鶴原放水路内)	放水路内の道路を車両で通行中、急に増水してきたため、車両が水没し車内に取り残された方の救助出動。乗っていた方は自力で避難していたことを確認。更に負傷等が無いかの確認を実施。	9人	3台
7/14 5:45頃	浮羽町西隈上	民家の庭先に水が浸入していたため、母屋等の入り口付近にブルーシートを敷き建物への流入防止及び、スコップにて庭先の排水路を作成。	2人	1台
◇ 6:00頃	吉井町吉井	河川が氾濫し民家に水が浸入してきたため出動要請。既に、消防団及び付近住民により積み土嚢が施されていたため、居住者の安全確認を実施。	3人	1台
◇ 6:10頃	浮羽町流川	山間からの流水が、道路を伝い民家庭先に浸入しているため出動要請。水の流出場所を確認するため車両で向かったが、水の流れて車両の進入が出来ず徒歩にて現場を確認。崖部分の亀裂を認めたため、付近住民へ避難準備を呼び掛ける。	2人	1台
◇ 6:25頃	浮羽町新川	鹿狩公民館西側付近の砂防ダムの水が土石流のように流れているとの通報により出動要請。出動途上、進行方向に土砂崩れを発見し、一旦停車し付近調査中に車両後方にも崖崩れが発生し孤立状態となる。重機を要請し、土砂の撤去を実施。通報時の災害現場付近の住民の安否は、連絡にて近くの民家に避難し無事を確認。	3人	1台
◇ 6:45頃	浮羽町妹川	住宅横を流れる河川の越水により床下浸水となり出動要請。既に、居住者は近隣者宅に避難したことを確認。更なる負傷等が無いかの確認を実施。	3人	1台
◇ 7:10頃	浮羽町東隈上	河川の水が民家へ流れ込んできたため出動要請。道路は車両が通行できないほど冠水している状態。多くの民家へ水が流れ込んでいる状態であった。通報者の安否確認及び現場付近の状況確認を実施。	2人	1台
◇ 7:15頃	浮羽町椋ヶ平	増水等により、2世帯7名が孤立しているため出動要請。徒歩にて7名を避難所へ避難誘導。	3人	1台
◇ 7:30頃	吉井町桜井	車両が流されているとの通報により出動。車が浸水し、逃げ遅れていた男女2名を救出。更に東長野地区一帯に浸水が確認できたため、ボート隊を出動させ、住民の安全確認の実施。更に避難時の説明を実施。	17人	5台
◇ 9:15頃	吉井町千年	スポーツアイランドの建物内に取り残された方がいるとの通報により出動。建物内の安全な場所に避難しているのを確認。のちに自衛隊ヘリにて救出。	10人	4台
◇ 11:45頃	浮羽町小塩	河川が土石流で塞がれ、道路及び民家周囲に濁流が流れ込み、更に橋の崩落があり出動要請。住民孤立状態者9名との情報により、歩行困難者は、舟形担架等にて避難所へ搬送。歩行可能者も、足元の状態が非常に悪いため介添え等で避難誘導し、9名全員の避難誘導を実施。	10人	3台
◇ 12:00頃	浮羽町流川	崖崩れにより車両が巻き込まれた可能性有りととの通報により出動。崖崩れを目撃した者の情報を入手し、崖崩れで車両及び歩行者等の巻き込まれは無いことを確認。	12人	4台
◇ 14:15頃	浮羽町田籠	新川・田籠線の巡視を実施。馬場公民館付近で河川の氾濫により、道路が寸断しているのを確認。更に、避難者の中に在宅酸素療法を行っている方で、ボンベの残量が少なくなっているとの情報により、徒歩にて酸素ボンベへの搬送を実施。また、途中、行方不明者が発生している情報があり、徒歩にて避難所を回り確認作業を行い、行方不明者発生地に17時20分頃到着。捜索活動を実施するも、二次災害危険のため一旦捜索は中止。	7人	2台
◇ 16:30頃	浮羽町東隈上	田籠地区の避難者の内3名が、自衛隊ヘリにて救出され、安全管理及び医療機関へ救急搬送を実施。	6人	2台
7/15 ~22	浮羽町田籠	行方不明者捜索活動を再開する。一部倒壊した自宅内を検索する。新川を下流に向け徒歩にて捜索活動を行う。ボートにて合所ダム付近を捜索する。22日ご遺体にて発見されるまで、9日間捜索を継続する。	延べ33人	延べ12台

孤立者救助のため、 陸上自衛隊のヘリコプターが急行。

7月14日、福岡県知事に対し、孤立状態となっている田籠地区や千年地区の住民救助のために、自衛

隊の派遣を要請。4名の方が陸上自衛隊のヘリコプターによって浮羽中学校に搬送されました。

市民の安全確保のため、 交通誘導、避難誘導等を実施。

うきは警察署では、7月13日、午前8時30分の大雨・洪水警報発令後、うきは警察署災害対策連絡室を設置し、警戒体制を取り、災害発生危険箇所に対する警戒活動などを実施しました。

7月14日、午前7時00分、署員を非常召集、うきは警察署災害対策本部を設置し、通行止め規制、行方不明者捜索等を行いました。



行方不明者捜索活動(田籠・注連原)



健康調査を実施(中村公民館)

浮羽医師会は医療チームを結成。 避難住民の健康をサポートした。

7月18日、災害現場での健康調査の実施に際し、うきは市より協力体制についての依頼要請があり、現地視察を実施。帰庁後に各医療機関へ現地健康調査のための医師・看護師等の派遣依頼を行いました。

7月20日、浮羽医師会管内10医療機関33名(医師6名、看護師等27名、救急車1台、車両1台など)のスタッフで、現地健康調査を実施し2名の患者を帯同の救急車で緊急搬送しました。

●7月17日(火)調査

調査地区	調査人数
田籠公民館	4人
美住公民館	7人
中村公民館	5人
注連原	6人
探野	6人
新川公民館(つづら)	5人
計	33人

(7/17はうきは市保健課が実施)

●7月20日(金)調査

調査地区	対象者	調査人数
馬場	50人	7人
日森園	75人	19人
美住	14人	10人
中村	19人	8人
注連原	27人	7人
探野	16人	7人
計	201人	58人

二次災害防止、 孤立集落解消のために、 応急復旧工事も進められた。

山間部では孤立した集落が発生し、また洪水による護岸の崩壊箇所が多数あり、二次災害の危険性が高かったため、優先順位を考慮して、151件の応急工事が行われました。

●災害応急工事箇所

区分	応急工事箇所数	応急工事費
農業用施設災害	44件	11,000千円
林道災害	25件	2,800千円
公共土木災害	82件	51,500千円



道路応急工事 県道朝田日田線(田籠)

ボランティアの力強い支援が、被災地を勇気づけた。



ボランティアの活動状況

美しいふるさとの姿を再び取り戻すため、山村復興プロジェクトがスタート。

うきは市の山間部の被災地を中心とした集落復興を目指し、農地(棚田)・水路・施設(家屋)・作業道の瓦礫、土砂撤去等の作業を行い、少しでも災害以前の風景を取り戻し、地元住民の復興への意欲を高めてもらおうと、「山村復興プロジェクト」が立ち上がりました。各種関係団体でうきは市山村地域保存会を組織し、市内外の団体や有志のボランティアに呼びかけて、現場復旧・復興活動を実施しました。



ボランティア活動状況



うきは市災害ボランティアセンターを設置。被災家屋の復旧を優先して実行した。

うきは市社会福祉協議会は、7月16日、うきは市総合福祉センター内に災害ボランティアセンター設置を決定。市内各所で発生した家屋の全半壊・流出をはじめ床上・床下浸水等の被害により、生活に支障をきたす状況が各所で確認されたため、センター職員で活動対応の範囲を協議・検討しました。その結果、緊急に被災者の生活基盤である被災家屋の復旧

を行うことを目的としてボランティア希望者を受け入れ、一人暮らし世帯、高齢者のみの世帯、障害者世帯を優先的に対応しました。

●うきは市災害ボランティアセンター設置期間

期 日	設置状況
7月16日	うきは市災害ボランティアセンター開設
7月17日～7月27日	うきは市災害ボランティアセンター稼働
7月28日～7月29日	うきは市災害ボランティアセンター休館
7月30日	現地ニーズ踏査 うきは市災害ボランティアセンター休館
7月31日～8月2日	うきは市災害ボランティアセンター稼働
8月3日	うきは市災害ボランティアセンター閉所

●対応したボランティアニーズ

ニーズ内容	完了件数	
土砂除き(床下等)	25	
家周り等の清掃	1	
災害ゴミの搬出	7	
その他	消毒	1
	土のう袋の搬出	4
	家財道具出し	1
	庭先の陥没の穴埋め	1
合 計	40	



ボランティア受付状況



ボランティア活動状況

●うきは市山村復興プロジェクト活動実績

(H26.1月 現在)

回	日 付	地 区	活動内容	参加人数
1	H24.11.25	新川地区(つづら)、田籠地区(注連原)	棚田・水路土砂撤去等	210
2	H24.12.8	新川地区(つづら)、田籠地区(注連原、湯牟田)	棚田・水路土砂撤去等	90
3	H25.1.19~20	新川地区(本村)、田籠地区(馬場) 妹川地区(持木)、小塩地区(白土)	農地・水路土砂撤去等	160
4	H25.2.16	新川地区(つづら)、田籠地区(日森園) 妹川地区(持木、尼ヶ瀬)	農地・水路土砂撤去 石垣復旧作業	70
5	H25.2.23	新川地区(つづら、本村)、田籠地区(日森園) 小塩地区(白土、楮原)	農地・水路土砂撤去等	70
6	H25.3.16~17	新川地区(つづら、分田)、田籠地区(注連原) 小塩地区(白土、笹の隈)	農地・水路土砂撤去 瓦礫除去作業	100
7	H25.4.20	新川地区(つづら、本村)、小塩地区(白土、女子尾)	農地・水路土砂撤去等	70
8	H25.11.30	つづら棚田石垣	石垣復旧作業	40
9	H26.1.26	つづら棚田石垣	石垣復旧作業	50
	合計	68箇所		860



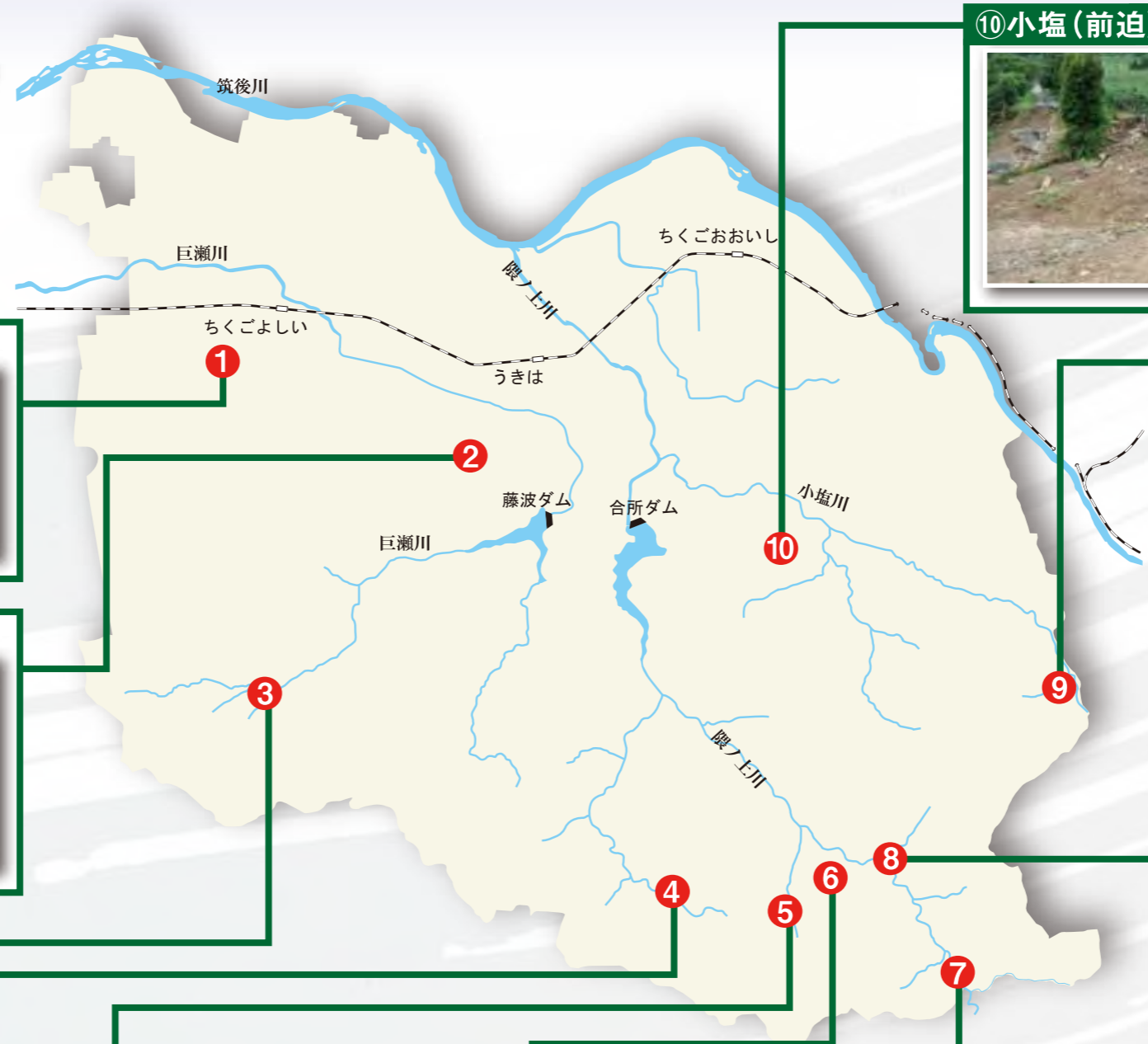
うきは市立大石小学校の児童が集めた募金を受け取る高木うきは市長

あたたかいメッセージとともに、たくさんの浄財が寄せられた。

九州北部豪雨災害に際し、うきは市には全国各地から貴重な義援金が寄せられました。企業・団体はもとより、奈良県の中学校生徒会などからも浄財が届けられ、その額は平成24年7月18日から平成25年8月31日までに、約3,860万円に上りました。その中より、約2,360万円が被災者に災害見舞金として配分され、約1,500万円がうきは市の災害復興に活用されました。

着々と進む復旧事業。

被災箇所の復旧にあたっては、
国(国土交通省、農林水産省、林野庁)からの
補助を受けて事業が進められています。
早期完了をめざし、工事にあたっています。



① 富永



被災時



復旧完了後

② 流川



被災時



復旧完了後

③ 妹川(元有)



被災時



復旧完了後

④ 新川(探野)



被災時



復旧工事中

⑤ 新川(つづら)



被災時



復旧工事中

⑥ 田籠(山口)



被災時



復旧工事中

⑦ 田籠(注連原)



被災時



復旧工事中

⑧ 田籠(馬場)



被災時



復旧完了後

⑩ 小塩(前迫)



被災時



復旧完了後

⑨ 小塩(女子尾)



被災時



復旧完了後